



2024年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年7月13日

上場会社名 株式会社白鳩 上場取引所 東
コード番号 3192 URL <https://www.shirohato.co.jp/>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 服部 理基
問合せ先責任者(役職名) 企画管理事業本部長 (氏名) 中江 好春 (TEL) 075-693-4609
四半期報告書提出予定日 2023年7月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第1四半期の業績(2023年3月1日~2023年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第1四半期	1,466	△5.0	△4	—	△38	—	△57	—
2023年2月期第1四半期	1,543	1.4	20	—	14	—	15	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年2月期第1四半期	△8.71		—					
2023年2月期第1四半期	2.31		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第1四半期	6,179	2,145	34.7
2023年2月期	6,287	2,202	35.0

(参考) 自己資本 2024年2月期第1四半期 2,145百万円 2023年2月期 2,202百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年2月期	—	—	—	—	—
2024年2月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年2月期の業績予想(2023年3月1日~2024年2月29日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,097	△3.6	9	△84.6	△29	—	△50	—	△7.56
通期	6,466	1.8	93	62.5	46	39.1	18	△75.3	2.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年2月期1Q	6,669,700株	2023年2月期	6,669,700株
② 期末自己株式数	2024年2月期1Q	13,738株	2023年2月期	13,738株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年2月期1Q	6,655,962株	2023年2月期1Q	6,655,962株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(1) 業績の状況

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、緩やかな景気の回復がみられ、先行きについても、雇用・所得環境が改善すると期待され、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されます。

このような経営環境のもと、当社は、2023年5月29日開催の第51回定時株主総会において、システム開発における豊富な経験と知識を有している菅原知樹氏が取締役役に就任し、今後、当社のオリジナル販売管理システムやECシステム、物流システムをはじめとするシステム全般の課題への取り組みによって、業務効率の向上はもとよりお客様へのサービス品質の向上にも取り組んでまいります。

国内販売の動向につきましては、クーポン施策等各種施策と共に、仕入原価上昇分の価格転嫁を慎重に進めた結果、購入件数につきましては、巣ごもり需要の一服や、電気、ガスや各種生活必需品の値上げ等が影響し、前年同期比85.9%と下落しましたが、客単価につきましては前年同期比108.9%と伸長しました。本店では、購入件数が前年同期比93.0%と低迷したものの、アフィリエイト施策による非認知層へのリーチを拡大し、アクセス数が前年同期比142.5%と伸長したことで、売上高は前年同期比101.7%と僅かながら伸長しました。一方、楽天レディースでは競合他社の大幅な値引き施策が影響し、売上高は前年同期比89.3%と低迷しましたが、当社では競合他社と短期的な価格競争をすることなく、適時適切な販売価格と各種施策によって利益の最大化を目指してまいります。ヤフーショッピングにおいては、モールにおける各種集客施策や、ポイントアップ等の販促施策の大幅縮小によってモール全体の集客が低迷し、加えて転換率も下落、独自セールやクーポン施策を試みましたが、売上高は前年同期比81.4%と低迷しました。海外販売では、広告効果や返金率の低下によって前年同期比134.3%と復調の兆しを見せ始めているものの、新型コロナウイルス感染症流行前の水準までには戻っておらず、先行きについては、まだまだ不透明で厳しい状況が継続すると見込まれます。

また、当社のPB（プライベートブランド）CB（コラボレーションブランド）における売上高構成比は、29.2%と前事業年度比でプラス1.6%伸長しました。引き続き、他社との差別化を図るためPBCB商品の拡充に努めてまいります。

この結果、当第1四半期累計期間における売上高は1,466,178千円（前年同期比5.0%減）、営業損失は4,847千円（前年同期は20,084千円の営業利益）、経常損失は38,886千円（前年同期は14,605千円の経常利益）、四半期純損失は57,959千円（前年同期は15,347千円の四半期純利益）となりました。

なお、当社は、WEBサイトでのインナーショップ事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末の資産合計は、6,179,588千円となり、前事業年度末と比較して107,640千円の減少となりました。

流動資産は2,024,728千円となり、前事業年度末と比較して61,319千円の減少となりました。その主な要因は、現金及び預金の減少（前事業年度末より438,780千円減少）、売掛金の増加（前事業年度末より132,621千円増加）及び商品の増加（前事業年度末より226,265千円増加）であります。

固定資産は4,154,860千円となり、前事業年度末と比較して46,320千円の減少となりました。その主な要因は、建物（純額）の減少（前事業年度末より26,388千円減少）、機械装置（純額）の減少（前事業年度末より19,298千円減少）によるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債合計は4,034,561千円となり、前事業年度と比較して49,680千円の減少となりました。

流動負債は1,973,267千円となり、前事業年度末と比較して2,034,153千円の減少となりました。その主な要因は、シーズン商品の仕入れに伴う買掛金の増加（前事業年度末より134,285千円増加）、未払金の増加（前事業年

度末より24,434千円増加)、短期借入金及び1年内返済予定の長期借入金の減少(前事業年度末より2,184,469千円減少)によるものであります。

固定負債は2,061,294千円となり、前事業年度末と比較して1,984,472千円の増加となりました。その主な要因は、シンジケートローン契約による長期借入金の増加(前事業年度末より1,984,469千円増加)によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産合計は2,145,027千円となり、前事業年度末と比較して57,959千円の減少となりました。その主な要因は、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少(前事業年度末より57,959千円減少)によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月期第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、2023年4月13日に公表いたしました予想数値を変更しております。

詳細につきましては、本日(2023年7月13日)発表の「2024年2月期第2四半期累計期間及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2023年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	692,314	253,534
売掛金	246,482	379,103
商品	1,065,928	1,292,194
貯蔵品	29,594	26,373
前渡金	873	226
前払費用	27,743	44,684
未収入金	23,439	27,289
その他	357	2,354
貸倒引当金	△687	△1,034
流動資産合計	2,086,047	2,024,728
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,745,660	2,745,660
減価償却累計額	△454,610	△480,998
建物(純額)	2,291,050	2,264,661
構築物	66,632	66,632
減価償却累計額	△26,542	△27,687
構築物(純額)	40,090	38,944
機械及び装置	744,337	744,337
減価償却累計額	△274,796	△294,095
機械及び装置(純額)	469,541	450,242
工具、器具及び備品	93,474	94,734
減価償却累計額	△68,606	△70,368
工具、器具及び備品(純額)	24,868	24,365
土地	1,291,928	1,291,928
有形固定資産合計	4,117,478	4,070,142
無形固定資産		
商標権	1,769	1,607
ソフトウェア	27,599	27,465
無形固定資産合計	29,368	29,072
投資その他の資産		
出資金	810	810
差入保証金	5,001	5,004
敷金	6,640	6,640
破産更生債権等	1,184	1,860
長期前払費用	1,601	1,360
繰延税金資産	40,173	41,661
貸倒引当金	△1,076	△1,691
投資その他の資産合計	54,334	55,645
固定資産合計	4,201,181	4,154,860
資産合計	6,287,229	6,179,588

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2023年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	9,162	3,054
電子記録債務	100,909	102,457
買掛金	271,399	405,684
短期借入金	2,000,000	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	1,312,500	128,030
前受金	6,050	6,050
前受収益	349	243
未払金	163,346	187,780
未払費用	63,635	54,597
未払法人税等	8,997	4,533
未払消費税等	1,978	-
預り金	4,103	4,709
契約負債	28,490	21,665
賞与引当金	32,880	48,704
その他	3,616	5,754
流動負債合計	4,007,420	1,973,267
固定負債		
長期借入金	-	1,984,469
長期末払金	20,952	20,952
資産除去債務	869	872
その他	55,000	55,000
固定負債合計	76,821	2,061,294
負債合計	4,084,242	4,034,561
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,196,654	1,196,654
資本剰余金		
資本準備金	1,186,654	1,186,654
資本剰余金合計	1,186,654	1,186,654
利益剰余金		
利益準備金	1,500	1,500
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△181,733	△239,692
利益剰余金合計	△180,233	△238,192
自己株式	△87	△87
株主資本合計	2,202,986	2,145,027
純資産合計	2,202,986	2,145,027
負債純資産合計	6,287,229	6,179,588

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2022年3月1日 至2022年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自2023年3月1日 至2023年5月31日)
売上高	1,543,699	1,466,178
売上原価	949,175	900,322
売上総利益	594,523	565,855
販売費及び一般管理費	574,439	570,703
営業利益又は営業損失(△)	20,084	△4,847
営業外収益		
受取利息	3	3
為替差益	635	157
債務勘定整理益	61	30
協賛金収入	49	12
助成金収入	-	471
受取補償金	54	1,999
保育園運営収益	2,612	-
その他	431	227
営業外収益合計	3,848	2,902
営業外費用		
支払利息	6,520	5,669
アレンジメントフィー	-	31,125
保育園運営費用	2,139	-
その他	667	147
営業外費用合計	9,327	36,941
経常利益又は経常損失(△)	14,605	△38,886
特別利益		
保険解約返戻金	24,309	-
特別利益合計	24,309	-
特別損失		
役員退職慰労金	22,760	-
特別功労金	-	19,750
特別損失合計	22,760	19,750
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	16,154	△58,636
法人税、住民税及び事業税	810	810
法人税等調整額	△2	△1,487
法人税等合計	807	△677
四半期純利益又は四半期純損失(△)	15,347	△57,959

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当第1四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第1四半期累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当第1四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。